

●代表質問……………②

公明党（山本 あさみ）
大阪維新の会（中野 学）
共創みらい（松井 康祐）
日本共産党議員団（北村 栄司）

●個人質問……………④

小芝 英俊（ええまち狭山）
北 好雄（公明党）
池永 裕樹（共創みらい）
山本 尚生（政風クラブ）
花田 全史（共創みらい）
西野 滋胤（大阪維新の会）
中井 勝也（大阪維新の会）
久山 佳世子（公明党）
深江 容子（日本共産党議員団）

●委員会審査のあらまし……………⑩

●議会報告会の報告……………⑪

●議決結果一覧……………⑫

☆大阪狭山市 議会 我だより

－編集・発行 議会広報委員会－



キアゲハ

議会だよりの表紙写真を募集中！

議会事務局 TEL072-360-4453（直通）
メール gikai@city.osakasayama.osaka.jp

代表質問

公明党
山本 あさみ



「誰もが安心して子育てできる環境の整備」について

問 ①インクルーシブ教育、COCOLOプランの本市の現状と課題、今後の取組について。②「生命（いのち）の安全教育」の本市の取組と今後の取組について。

答 ①インクルーシブ教育システムの構築を見据えた取組を進めている。小学校低学年における不登校児童が増加傾向にあることが課題である。校内教育支援センターを全小中学校に設置したほか、教育支援センターの分室を本年9月の新設に向けて整備を進めている。これにより、子どもたちが学びにアクセスしやすく、かつ安心できる居場所づくりを推進していく。②文部科学省が作成した教材や指導手引きを活用し、子どもの発達段階に応じた指導を行っている。



要望 ①教育支援センター、校内教育支援センターの運営の取組をより充実させて、子どもに寄り添うように要望する。②子どもたちの命を守り、人権を守るためにも、子どもたちへの教育とともに保護者、教員向けの研修もぜひ行うように要望する。市長の公約の「誰もが安心して子育てできる環境の整備」ということから具体的な質問をした。研修や視察に行くとともに、10代の居場所の必要性を感じる。このような教育

支援のための予算は、まさしく未来への投資である。子どもたちが大阪狭山市で育ち、大阪狭山市に住み続けたいと思えるような、誰もが安心して子育てできる環境となることを要望する。

狭山駅周辺の開発について

答 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画において、狭山駅周辺を近隣中心エリアに位置づけ、生活支援機能の維持・向上や、居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成に取り組んでいる。当該整備にあたり、狭山駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりの推進に向けて、地域の現状やまちのにぎわい創出に向けた土地利用が図られるよう、事業者に対して協力を求めている。

要望 これからのにぎわいづくりとして、新たな魅力発信拠点となるよう、前向きに事業者への協力を求め、さらに今後、駅前の開発が進んでいく際には、市民が憩える駅前広場を視野に入れた検討を要望する。

さやりんバスのバス停留所について

問 ①狭山池北（西回りAコース側）及び池之原二丁目バス停留所の暑さ対策について。②池之原二丁目バス停留所の待合ベンチの設置について。

答 ①新たな助成制度や補助制度の創設動向を注視するとともに、バス停の利用状況や乗降客数なども踏まえながら総合的に検討する。②ひと休みベンチ事業等を活用し、府道大阪狭山線を管理する大阪府と協議のうえ、設置に向けて検討する。

RSウイルスワクチンの定期接種について

要望 里帰り出産される方の接種漏れがないよう、また、償還払いがあることなど、丁寧な説明を要望する。

代表質問

大阪維新の会
中野 学



市制施行40周年記念行事等について

問 企画やイベント、機運醸成に向けての今後のプランを伺う。

答 記憶に残る記念式典の企画、市勢要覧やシンボルマークの作成など、多彩な周年事業を検討している。

要望 市民から記念事業のアイデアを募集し、企業版ふるさと納税の活用や、埼玉県狭山市の狭山茶の販売を行うなど、他の自治体・民間企業とのコラボの公募について要望する。

今熊地区周辺エリア複合施設整備事業及びこども子育て複合施設整備事業について

問 ①今熊地区周辺エリア複合施設、②こども子育て複合施設、それぞれの事業の今後の進め方を伺う。

答 ①事業者から、基本設計段階から施設完成後に至るまで、事業進捗に合わせたワークショップなどをするという提案があった。②幼児教育アドバイザーの意見も取り入れながら、運営形態や職員配置、カリキュラムの策定などを進めていく。



※今後、協議により一部変更となる可能性があります。

意見 ①市民の声を聞くことができる機会を経て、後世へ誇れる今熊地区の公共施設になるよう事業が進んでいくことに期待する。②選定委員会の総評で、委員長が教育長の言葉を引用して述べた「本施設が、未来

を生きる子どもたちへの大切な『贈り物』となるよう、ハード・ソフトの両面から『記憶に残る楽しい生活の場』を具現化していきたい。」との言葉は、今後の公共施設等を設計施工するうえでの指標となる。

企業が本市に来やすい環境づくりについて

問 企業誘致は地域経済を活性化し、雇用創出や税収増加など、地域の持続的な発展を図ることが期待されるが、今後の展開を伺う。

答 現行の制度や基準に従い、企業が進出や事業拡充をしやすい環境の整備に努め、商工会をはじめとする関係機関と連携し、積極的に情報提供を行う。

要望 「住み続けたいまち大阪狭山市」の良さを生かしつつ、働ける大阪狭山市をめざしてほしい。

健康づくりでのポイント事業について

答 システムの構築、運用体制、費用対効果など、様々な課題を整理し、全世代の市民が利用しやすく、低コストで導入できる方法について調査研究していく。

要望 狭山池の周回や公園を訪れることでのポイント付与を要望する。それらの記録は個人の運動記録にもなり、楽しみながら積極的に参加できるポイント事業の推進を要望する。

公園や街路の計画的な樹木管理について

答 空間整備について地元地区と協議をしながら、ウォークアブルなまちづくりを推進する。

要望 公園樹木の持つ機能を十分に発揮し、適正な維持管理を図ることが目的である。今後は適正管理をより進めることを要望する。

代表質問 共創みらい 松井 康祐



変革期の今こそ市民・利用者の立場に立った丁寧な説明と意見集約を

問 本市は今、近畿大学病院等跡地開発や今熊地区周辺エリアの整備、幼稚園・こども園の再編・統合に加えて、府営住宅の集約・建替事業が始まるなどまちの景色が一変する各種事業が進んでおり、市民からいろいろな相談をいただく。①老人福祉センターを含む今熊地区周辺エリア整備事業において、福祉センターや公民館、図書館利用者の声を今後どのように受け止めるのか。また福祉センター休館中の利用者の利便性や温浴施設の対応は。②幼稚園・こども園の再編・統合について、アンケート結果に対する対応は。③近畿大学病院等跡地を起点としたまちづくりについて本市のめざすものは。④府営住宅ストック総合活用計画において今後の住民要望への対応は。

答 ①今後、事業者によるワークショップ等を開催して意見を集約する。また、福祉センター利用者の活動が途切れないよう検討している。温浴施設については、民間施設を含め検討中である。②子どもたちの活動の場の充実、駐車場の台数確保や利便性・安全性の向上を求める声をふまえ、国基準を上回る要求水準を定めて選定した提案内容は、これらの要件を十分に満たすものである。③今回の開発が起点となり狭山ニュータウン、そして本市全体の活性化やにぎわいづくりに貢献し、広く波及することをめざす。④市民からの要望などについては、本市からも大阪府に働きかけていく。

要望 ①ワークショップなどを開催する際は、さやま荘クラブ委員会に

参加を依頼するなど、現在の各施設利用者に案内を。



さやま荘（大阪狭山市立老人福祉センター）

世界情勢の変化により市民が直面している課題について

問 市民生活に大きな影響が出ている。①今後の支援策は。②自治会などへの各種補助金の見直しは。

答 ①国の財源を的確に把握し、必要な支援を検討する。②自治会館の修繕補助金などは、今後自治会などの意見も伺い、判断していく。

要望 さやりんポイント事業は対象を大阪狭山市民に限定すべきである。

継続して大阪狭山市が独自性を持って自治を進めるために

問 大阪府や一部政党により合併ありきで進もうとしている「南河内基礎自治機能充実強化協議会」での議論には参画すべきではないと考えるが見解を伺う。

答 引き続きあらゆる分野について議論を重ね、さらなる広域連携を一步ずつ前進させることで南河内地域全体の発展・成長につなげていく。

施政運営方針の大阪狭山市DX推進方針の見直しについて

問 市民サービスの向上や職員の働き方改革、デジタル機器の利用が困難な方への対応について伺う。

答 行政手続のオンライン化やペーパーレス化を進める。AIなどを活用して業務の効率化を進めるとともに、スマートフォン活用講座などデジタルディバイド対策を継続する。

代表質問
日本共産党議員団
北村 栄司



本市の熱中症対策の現状と今後の取組について

問 ①本市職員、②高齢者、③子ども（幼児・小中学生）、それぞれの対策について伺う。

答 ①厚生労働省の「職場における熱中症防止のためのガイドライン」をふまえ、いっそうの推進を図る。②高齢者のための熱中症対策のリーフレットをもとに、民生委員などが熱中症予防の声かけをしている。また、現在市内に22か所あるクーリングシェルターの拡充を行う。③国のガイドライン等に基づき取り組んでいるが、引き続き推進する。

要望 他市の先進事例を生かし、さらに充実させる努力を要望する。

台風シーズン前の雨水対策について

答 毎年5月に2日間かけて、浸水箇所の巡視点検や水路の清掃を行い、被害の未然防止に努めている。また、市民からの土のう設置などの要望にも、迅速かつ円滑に対応できる体制を整えている。

災害時のトイレ対策について

問 突然の大きな地震。給排水設備の復旧までトイレも使えない。非衛生的な環境が心身に大きなダメージになる。災害用携帯トイレの無料配布や購入費用の補助など、一歩踏み込んだ支援策を求める。

答 本市では、自主防災組織等防災活動支援事業補助金の総合防災活動事業として、自主防災組織などが各世帯に配布するために災害用携帯トイレなどを購入する費用の2分の1を補助し、地域全体での備蓄促進を支援している。今後も自助・共助・公助の役割分担をふまえ、地域

における防災体制の充実と市民の備蓄意識の向上に取り組む。

今熊地区周辺エリア複合施設整備事業を進めるうえで市民の意見・要望がより反映できる取組を

問 約200の市民団体が公民館等を利用している。本市が把握できる関係団体へ、シンポジウムやワークショップなどの開催案内時にQRコード付きの意見・要望アンケートを送付・配付することを提案する。

答 提案などを参考としながら、市民、設計者、本市が一体となって施設のあり方や魅力向上について考え、意見を出し合えるようにする。



中東情勢の緊迫化による影響から中小企業支援について

問 本市でもあらゆる分野で資材が入手困難になり、事業継続そのものが危ぶまれるとの不安の声がある。国への要望も含め市の対策を求める。

答 市内事業者の事業継続を支援するため、5月1日から大阪狭山市エネルギー価格高騰対策事業者支援金の申請を受付し、順次支給している。国に対しては、全国市長会として6項目に基づく要請を行なった。今後の推移を見ながら、国・大阪府へ引き続き要望活動を行う。

葬儀に関する相談窓口を

答 葬儀サービスのトラブルを未然に防ぐための具体的な情報など、出前講座や市ホームページなどを通じて周知啓発していく。

個人質問
小芝 英俊



養護教諭の複数配置の推進について

答 複数配置は困難であるが、引き続き支援体制の充実に努める。

要望 養護教諭の大半は1校に1名で、職務は多岐にわたり、休憩時間すら取れない激務である。子どもの安全確保のためにも、養護教諭の複数配置は必要であり、独自の加配を要望する。



金剛駅周辺の整備計画の現状と市民の要望について

個人質問
北 好雄



高齢者世帯エアコン購入費助成について

問 家のエアコンが壊れたが、購入費用が捻出できないため、今年はエアコンなしで過ごすかと考えていると、市民から相談があった。近年の暑さでは、熱中症などのリスクがあり、エアコンなしで暮らすことができない。八尾市では、低所得高齢者世帯にエアコン購入費助成金が支給される。本市も高齢者世帯にエアコン購入費の助成をすることはできないか、見解を伺う。

答 本市として高齢者世帯へのエアコン購入費助成を独自に実施することは、対象者の公平性、制度導入後の継続的な運用コストなど、慎重に検討しなければならない。本市は熱中症特別警戒アラート発表時に備

【答】 本市のみで対応できないものは再整備事業に併せて検討したい。

【要望】 地域住民の声を聴き、2033年の全面リニューアルを待たず、可能なところから整備を進めるべきである。

狭山池公園のトイレの増設について

【答】 大規模イベント開催時はトイレが混雑しているが、増設する考えはない。主催者に仮設トイレの設置などを検討していただく。

【要望】 狭山池まつりや花火大会などでは、特に女性用トイレの不足が生じるのは明らかである。主催者任せにせず本市としての対応を要望する。

保育所・こども園・放課後児童会などの待機児童の現状について

【答】 保育施設で14人、放課後児童会で39人の待機児童が出ている。

【要望】 本市の想定より子どもの数

え、冷房設備を備えた公共施設や民間施設22か所をクーリングシェルターとして指定し、市民が安心して休憩できる環境を確保している。



さやりんポイントプレミアムチャージキャンペーンについて

【問】 ①磁気カードだけではなく、紙のプレミアム付き商品券を発行することはできないか。②大阪狭山市の予算であるので、市民に限定することはできないか。③スマートフォンのアプリや磁気カードに現金をチャージする場合、セブン銀行のA

は減っていないのでは。隠れ待機児童も含めて至急の対応を要望する。

通学路周辺の防犯カメラの計画的な整備について

【答】 昨年度と今年度の2か年を防犯環境充実強化期間として、街頭防犯カメラの整備を進めている。今年度中に90台となる予定である。

【要望】 地区会などによる防犯カメラの設置に対する補助率は、来年以降も3分の2を維持してもらいたい。

平和学習の地道な積み重ねについて

【答】 人権教育に平和学習を明確に組み込み、出会いを大切にしながら計画的に進めている。

【意見】 文部科学省の沖縄平和学習に対する「教育基本法違反」の見解は誤りである。萎縮することなく、地道な取組を積み重ねてもらいたい。

TMしか使えない。他のコンビニや銀行のATMも使えるようにできないか。

【答】 ①紙の商品券を導入する場合、印刷・販売・回収、さらには偽造防止などの管理において、多大な事務コストと経費を要する。現在のICTを活用した手法が迅速かつ効率的である。②市外の方でも、市内を訪れ市内の店舗を利用することは、地域経済への直接的な貢献と新たな顧客獲得の効果がある。③全国各地に設置されているセブン銀行ATMでチャージ可能である。

高齢者いきいきポイントカードについて

【問】 給付対象者が65歳以上の高齢者である。対象者に現金で支給することはできないか。

【答】 現時点では、現金支給ではなくポイント付与方式を継続する。

議会を傍聴しませんか

9月定例月議会

8月24日(月) 議会運営委員会
31日(月) 初日
9月10日(木) 代表質問
11日(金) 個人質問
16日(水) 建設厚生常任委員会
総務文教常任委員会
18日(金) 予算決算常任委員会
24日(木) 予算決算常任委員会
25日(金) 予算決算常任委員会
29日(火) 最終日

上記の会議は、 YouTube で生中継しています。開始時刻は市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。



■パソコン ■タブレット
■スマートフォンでご覧ください

▶▶▶ 大阪狭山市議会公式
YouTube チャンネルは
コチラ



▶▶▶ 大阪狭山市議会
ホームページはコチラ

大阪狭山市議会ホームページでは、会議録や定例会情報、議員名簿、その他議会からのお知らせなどを掲載しています。



個人質問 池 永 裕 樹



マイナンバーカードの受取に係るひきこもり状態にある市民への対応について

問 ①代理受領に必要な公的支援機関が作成した書類の運用について。②支援につながっていない人への対応について。③マイナンバーカードの受取に係るアウトリーチの実施について。見解を伺う。

答 ①国の事務処理要領に基づき、自治体以外に、ひきこもり状態にある方の相談を受託しているNPO法人など、民間団体の職員が証する書類も有効に取り扱えるよう運用している。②関係機関及び庁内関係部局と連携し、支援につながるようにしていく。③来庁が原則であるが、先進事例を調査・研究する。

要望 ①ひきこもり状態にある方

にとっては社会とつながれているという状況は非常に重要な一歩であり、そのつながりの対象が公的委託の対象か対象外かで区切られてしまうことは、本人にとっても苦しいものとする。NPO法人などの民間団体に対する解釈は、その定款や活動状況などを考慮したうえで、取扱いが可能となるよう最大限の配慮をお願いする。②重層的な連携協働について全庁的な取組を加速させ、支援の充実につなげてもらいたい。③できる範囲での一步一步を積み重ねることが、ひきこもり状態にある方の社会復帰には有用であり、そのために適切なアウトリーチによる助けは必要である。国などの関係機関への提言や相談を要望する。

認知能力が低下した高齢者に係る資産管理の支援について

要望 静岡県焼津市や兵庫県西脇

市では、通帳・印鑑の紛失やATMが操作できないなどの異変を察知した金融機関が、支援会議や重層的支援会議へ参画することにより、介護保険制度や成年後見制度の利用につなげたり、金融機関による見守りの実施が行われている。これら金融・福祉間の連携について注視・分析し、民間の地域資源を適切に活用して、権利擁護のため常にもう一歩の支援につなげてもらいたい。



その他、職員の業務遂行に係る組織体制の構築について質問しました。

答 大阪狭山市DX推進方針に基づき、市民に等しく行政サービスを提供できるようデジタルディバイド対策も併せて取り組んでいる。総務省の自治体フロントヤード改革推進手順書などを参考にしながらオンライン申請の拡充などに対応できるよう努める。

デジタル教科書の導入と対応について

問 国は、小中学校などにデジタル教科書を段階的に導入予定とのことである。デジタル端末の活用が進むと、子どもたちの健康面や発達段階に対する配慮が重要になるが、本市の見解を伺う。

答 教育委員会は、本市の子どもたちの発達段階や学習効果、そして心身の健康を最優先に考え、紙とデジタルの双方の良さを最適に組み合わせる教育を推進していく。

個人質問 山 本 尚 生



第五次総合計画の見直しと今後のまちづくりについて

問 100歳以上の高齢者は、約10万人になった。高年齢者雇用安定法は、70歳までの就業機会を確保するよう企業の努力義務とした。総合計画において、あらゆる世代の市民が生涯住み続けたいと思えるまちづくりについての展望を伺う。

答 第五次総合計画の中間見直しをふまえ、スマートシュリンクをし、まちの魅力アップと市民生活の質を高めていく。また、高齢者が安心して暮らし続けることができる地域社会の実現に取り組む。

こども誰でも通園制度の運用状況について

問 東野幼稚園での本事業開始

後の利用状況などについて伺う。

答 本事業は本年4月中旬から開始し、延べ24人を受け入れた。保護者からは、育児負担が軽減され、集団生活のよい機会になったとの声がある。子育てアプリなどを活用して本事業の周知をしていく。将来的に東野幼稚園を、子育て支援拠点の一つとして活用していく。



自治体DXの推進について

問 自治体DXが急速に進んでいる。デジタルディバイドの対応も課題になっている。本市の見解を伺う。

個人質問 花田 全史



市民ふれあいの里の将来展望について

問 リス園の人気上昇で来園者が増加する一方、施設の老朽化や受入環境の制約の課題が顕在化している。将来展望について伺う。

答 令和7年度来場者数は前年度比24%増の6万6,168人である。サウンディング調査や情報発信強化を進め、リニューアルに向け魅力向上や公民連携の可能性を検討する。

要望 自然体験などを生かした社会教育拠点の機能強化、堺市との広域連携、地域住民の参画、横断歩道の設置などアクセス向上を要望する。

通学路における工事に関する安全対策について

問 小規模工事は誘導員の配置義

務がなく、登校時間帯の工事車両との接触事故リスクが高い。登校時間帯を避けた工事開始への協力要請、情報共有体制について伺う。

答 小規模工事への法的規制は困難だが、建築主などから事故防止の誓約書の提出を求め指導している。建築計画情報の一律提供は、個人情報保護の観点から困難であり、交通安全教育の充実に努める。

要望 通学路交通安全推進会議への情報提供や工事開始時間帯への協力要請強化、建築確認概要書の開示など実行可能な方策を要望する。

持続可能な循環型社会の実現に向けて

問 一般廃棄物処理基本計画策定から10年以上が経過し、リサイクル率が低迷する中での計画見直し、集団回収未実施地域への支援策や、小型充電式電池の回収拠点拡充につ

いて伺う。

答 昨年度のリサイクル率は約13%で目標に達していない。次期計画の策定検討委員会を設置する。小型充電式電池はコンビニなどの活用を含め調査・研究する。

要望 サステナブルファッション・プラットフォーム協議会への参加を要望する。小型充電式電池は24時間回収可能な拠点の設置や、消火機能付回収容器の活用など、安全性と利便性を両立した整備を求める。



その他、アピランスケア支援の拡充についての質問をしました。

個人質問 西野 滋胤



本市の強みである「子育て先進都市」のさらなる深化・拡充に向けて

答 子育て支援をまちづくりの重要施策に位置付け、子育て先進都市のブランド力向上と持続可能なまちづくりを進めていく。

要望 これまでの子育て施策の成果を評価したうえで、2040年を見据えた人口減少対策として、子育て先進都市ブランドのさらなる強化を提言する。市制施行40周年を契機として『子育て先進都市宣言』を提唱し、今後いっそうの子育て支援の充実を要望する。

今熊地区周辺エリア複合施設整備事業における組織・運営体制の強化について

問 本年5月末、当該事業の優

先交渉権者が決定した。そこで①庁内の組織・運営体制について。②市民意見の反映について。③保健センター・休日診療所の今後の方向性について。

答 ①資産活用・契約グループを中心に横断的体制で事業を推進していく。②事業者が実施するワークショップを通じて市民の意見を集約反映し、事業を進めていく。③新施設には保健・休日診療機能の提案はなく、既存施設の改修などを再検討していく。

要望 ①今熊地区周辺エリア複合施設整備の推進に向け、庁内連携と調整体制の強化を要望する。②市民参画を重視し、ワークショップなどで利用者の声を丁寧に反映した施設整備を求める。③保健センターと休日診療所などの機能維持と既存施設の改修内容の充実、安心して利用できる環境整備を要望する。



※今後、協議により一部変更となる可能性があります。

今熊地区周辺エリア複合施設の整備に合わせた三津屋川緑道のリメイクについて

答 地蔵橋から給食センターまでの区間の三津屋川緑道の安全性向上と環境整備を実施する。

要望 三津屋川緑道及び周辺の歩行空間の適切な維持管理を行うこと。また、国道310号及び府道の橋梁下を含むアンダーパス化などを検討し、今熊地区周辺エリア複合施設と一体となった三津屋川緑道周辺のリメイク・再整備を強く要望する。

個人質問 中井 勝也



東大池公園の整備と狭山ニュータウンの活性化について

問 東大池周辺の樹木伐採・剪定について、近畿大学病院等移転跡地開発と連動した水辺空間の魅力向上をどう進めるのか。

答 治水機能の確保と安全対策、景観整備のため樹木伐採を行う。今後は跡地開発や地域イベントと連携し、地域と意見交換を行いながら、水と緑を生かした水辺空間の創出と狭山ニュータウンの活性化を進める。

要望 東大池を象徴的な水辺空間とし、景観・安全性・自然環境の調和を図り、市民と将来像を共有し再生のシンボルとして整備を要望する。

金剛駅を中心としたまちづくりについて

個人質問 久山 佳世子



低出生体重児などの支援について

問 ①搾乳器や母乳パック購入への公的補助について。②リトルベビーハンドブックの活用について。

答 ①これまで搾乳器などの購入費助成についての要望はないが、保護者の具体的なニーズを丁寧に伺い、安心して出産・子育てができる環境の整備に努めていく。②令和5年1月に大阪府が作成し、先輩家族からのメッセージの掲載や、赤ちゃんの個々の成長や発達に合わせた記録ができるよう、母子健康手帳を補完するものとなっている。

給水スポットの導入でマイボトルの普及とプラスチックごみの削減を

問 マイボトルの利用促進に向け、庁舎内や小中学校への給水ス

答 令和13年度の商業施設開発、令和15年度の全体リニューアル完了をめざす。市民や利用者の意見をふまえ、広域交通結節点としてのまちづくりを進める。

要望 東西アクセス改善や交通結節機能強化、バリアフリー化を進め、大阪府の知見や支援も積極的に活用し、大阪南部の拠点にふさわしいにぎわいと交流空間の実現を要望する。



※本イメージは現時点での検討状況であり、今後の設計等により変更となる可能性があります。

災害時に市民の命を守る地域防災力の向上について

問 地域防災力向上、実践的訓

ポットの設置について伺う。

答 衛生管理の徹底、定期的なメンテナンスや清掃といった継続的な維持管理が不可欠であり、人的コストなど管理上の経費が必要となることに加え、利用者の安全を確保するための責任体制の構築なども課題となることから、庁舎内や小中学校への設置は考えていない。

要望 庁舎内ロビーにマイボトルで給水可能な機器の実証実験を。

婚姻届記念撮影コーナーの設置を

答 コーナーの設置は困難であるが、新たな顔出しパネルのデザインを検討していく。要望があれば記念撮影を行っている。

大切な子どもたちを守る熱中症対策を

問 日傘とランドセル装着用の冷却パッドの配布と、冷却パッドを

練、防災人材育成をどう進めるのか。

答 防災フェスタや避難所運営訓練などに加え、より実践的な訓練を検討し、防災力向上を図る。中学校では防災学習や救命講習を通じ、人材育成に取り組んでいる。

要望 訓練成果や課題を共有し、優良事例の横展開や担い手育成を進め、災害に強いまちづくりを求める。

循環型社会の構築に向けたごみ減量・リサイクル施策の見直しについて

答 ごみ排出量は約25%削減、リサイクル率は約13%にとどまる。市民アンケートやごみ組成分析を行い、新たな基本計画を策定しごみ減量と再資源化を進める。

要望 回収量減少の要因の分析や回収環境の充実、持ち去り対策を進め、市民・事業者・行政が一体となった循環型社会の構築を要望する。

保冷するための冷凍庫を学校に配備し、まぶしさや紫外線がもたらす不調から生徒を守るためのサングラスの推奨を。

答 日傘や冷却グッズなど、広く柔軟に使用を認めており、多くの児童生徒が有効に活用し、自ら身を守る行動をとっている。物品の配布などについては、限られた財源の中、学校現場の実情や実効性を踏まえ、慎重に判断する必要がある。引き続き、子どもの主体性を大切にしながら様々な対策を推進していく。



個人質問

深江 容子



市制施行40周年記念事業について

問 今後、公共施設の建替えなど大きな事業が控えている。40周年記念行事では、お祝いやイベントだけでなく、本市の将来を住民と共に考える取組などが重要ではないか。

答 式典や40周年記念事業では、本市の魅力を確認、再発見するとともに、多くの世代の人に愛着や誇りを深めてもらえるよう取り組む。

公共施設建替え工事期間中、市民活動・文化活動が中断されないような支援を

問 建替えや仮移転に伴い、活動場所が確保できるのかと心配の声があがっている。本市の見解を伺う。

答 各施設の特性や稼働率などを勘案し、現状の活動が途切れない

よう検討をしている。

要望 新施設が開館されるまでの間、利用状況のアンケート調査を実施し、適切に対応することを求める。



学用品など学校教育に関する費用の補助を

問 文部科学省は学用品などの購入による保護者の負担を軽減するよう通知を出している。教材費や校外活動費、修学旅行費などの補助を実施してはどうか。本市の見解を伺う。

答 彫刻刀や鍵盤ハーモニカなどは、卒業生からの提供を受け、学

校備品として活用している。

要望 万博遠足時のバス代のように、市費の補助を検討してもらいたい。

学校生活での紫外線対策としてサングラスの着用を

問 子どもの目は紫外線を通しやすい。眼病リスクを下げるため学校でサングラス着用を導入できないか。

答 医学的観点からの重要性は理解している。国や先進自治体の動向を注視する。

公共施設や小学校のトイレに生理用品を

問 相談窓口や保健室に行くことに心理的負担を感じる人がいるため、トイレの個室への設置を求める。

答 対面で提供することで、専門的な支援につなげることができる。

意見 必要な人がすぐに手に入れられるような環境が重要である。

可決した意見書の要旨

すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

「経済財政運営と改革の基本方針2025」において、年代や就労の有無を問わずケアラー支援の必要性が明記されたが、現在の取組は特にヤングケアラーを対象とした地方公共団体への財政支援にとどまり、ケアラー全体を対象とした包括的な法制度はいまだ整備されていない。

そこで、すべてのケアラーが個人の尊厳を保ち、社会から孤立することなく、安心して生活し、就労や学びなどの社会参加を継続できるよう、包括的な支援の基本理念や法的枠組みの整備などに取り組むよう強く求めるもの。

ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

現在、我が国では、2法人が国内3か所の母乳バンク拠点の運営を担い、ドナーミルクを医療機関に提供しているが、法的な仕組みとしては位置付けられていない。また、使用に伴う費用等が実質的に医療機関の負担となっていることに加え、ドナー登録における事務処理等が登録施設の拡充を阻んでいる。

そこで、低出生体重児等の命を守り、その健やかな成長を支える観点から、ドナーミルクの法的位置付けを明確にし、母乳バンクの運営、ドナーミルクの殺菌処理及びドナーの検査等に対する支援を講じるよう強く求めるもの。

住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書

住まいは社会保障の基盤であり、個人の尊厳を守るために不可欠な社会インフラであるが、長引く物価高騰や、都市部を中心とした家賃相場の上昇による過重な住宅費負担が生活困窮に拍車をかけている。また、単身高齢世帯の急増に伴い、賃貸住宅への入居拒否や孤独死への不安、老朽化した住まいの安全確保など、居住に関する課題は多岐にわたり、深刻化している。

そこで、誰もが安心して住み続けられる社会の実現に向け、低所得者や子育て世帯を対象とした新たな住宅手当制度の創設や、低所得者や子育て世帯を対象とした新たな住宅手当制度の創設、世帯への居住サポート住宅の整備や、孤独死への不安を解消するガイドラインの周知などを実施するよう強く求めるもの。

委員会審査の あ ら ま し

議案は常任委員会に付託され、審査されました。
主な内容は次のとおりです。

総務 文教 常任委員会

不採択 公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立と安全確保を求める陳情

討論 不採択 校外学習や修学旅行を行ううえで、安全対策は絶対的なものである。その点から、沖縄県の辺野古で起こった事故はあってはならない事故である。しかし、本市の公立学校においては、安全対策は十分に行われていること、突発的な状況への臨機応変な対応や保護者への連絡を行っていることを確認できた。

一方で、教育の自主性や自立性は大事であり、教育基本法でも教育権の独立を示している。行政や国が教育の中身に介入することのないようにすべきであり、偏った政治的思考や思想の教育にならないことは当然である。本市でも平和教育は人権教育のなかの平和教育として関連連して行っており、多面的に意見を聴取することや毎年のPDCAサイクルによって検討しながら、よりよいものとしていることがわかった。

本市の現状に問題はなく、本陳情は学校に平和教育そのものを委縮させる懸念があると判断し、不採択。

討論 不採択 陳述者から伺った内容には非常に感銘を受け、大切なことだと考える。しかし、SNSを通じた呼びかけをきっかけに提出された本陳情の背景には、呼びかけの発信元が持つ特定の政治的思想が見られる。陳情者が危惧する政治的な偏向

教育につながり、中立性を確保できないのではとの懸念から、不採択。

討論 不採択 陳情者の思いには、同じく子を持つ親として理解できるものである。しかし、本市の教育委員会に現状を確認したところ、その思いに応えるような答えであった。また、学校の自主性を尊重するため、市議会としての介入は避けたい。

これからも子と思う親の思いを受け止めてもらえるように、教育委員会と教職員には、頑張っていただきたいという思いを加え、不採択。

討論 不採択 保護者への説明責任と修学旅行、校外学習の安全管理の徹底については、文部科学省の通知の趣旨も踏まえて、本市では徹底して行われているという状況を確認した。また、現時点で本市において、特定の政治的立場に偏った教育が行われている具体的な事実は示されていない。

政治的中立性や安全管理上の問題があるとする具体的な事例が確認されていないなかで、過去の教育活動を広く調査し、聞き取りなどを実施する必要性までは認められないため、教育委員会には、今後も政治的中立性と安全確保をしていくことを求め、不採択。

建設 厚生 常任委員会

可決 大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議

賛成 全員異議なく可決しました。

可決 大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に關する協議

賛成 全員異議なく可決しました。

予算 決算 常任委員会

可決 令和8年度(2026年度)一般会計補正予算(第4号)

問 さやりんバスミニカー作製事業について。

答 市制施行40周年事業の記念品とするほか、販売などについて今後各団体と協議し検討していく。

問 交通安全施設整備工事の場所と金額の内訳について。

答 市内3か所で実施する。①東野公民館南東側から五差路の交差点付近までの舗装修繕およびカラー化で3,400万円。②狭山ニュータウン地区のコノミヤ東側と北側の歩道および水路蓋の改修、舗装のカラー化で6,500万円。③東幼稚園北側の道路拡幅で1,200万円。

問 フリースクールみ・ら・いの今年9月開始予定の分室について。

答 場所は今熊3丁目の集会所を転用する。広さ18畳の集会室と湯沸室、倉庫、トイレ1つを備える。備品は既存の長机や椅子を使用する。Wi-Fiは携帯2台のテザリングを使用し、児童生徒の端末を使用させる予定である。

意見 安定したWi-Fi環境など子どもたちの快適な環境整備に財源を投入してほしい。

問 総合体育館改修工事による利用者への影響と休館時期について。

答 受水槽などの取替えのため、大会などが比較的少ない2月に10日間程度の休館を予定している。

問 ブレイキンに関する講習会の目的と詳細について。

答 今年度は5歳から中学3年生までを対象に、連続型のワークショップを実施する。参加者にアンケート調査をして、意見を反映した事業づくりをしていく。

議会報告会

市民と議会の“わがまちトーク”を開催しました

意見交換会のテーマ「**大阪狭山市のここが好き♡**」

開催日 令和8年5月23日（土） 場所 市役所3階 第1・第2会議室

グループ・議員名	課題・意見・要望など
A グループ 北 好雄 中井勝也 中野 学 花田全史 深江容子 松井康祐 山本尚生	●国道310号沿いは、歩道の段差や傾斜、スロープ未整備などにより、車いす利用者や高齢者にとって通行しにくい。危険箇所を把握し、順次整備してほしい。 ●子どもの登下校時の見守りや旗振り活動の担い手が縮小している地域がある。子どもの安全確保と人材不足への対応が課題である。 ●今熊地区周辺エリア複合施設について、クラブ活動、サークル活動、一般利用が継続できるのか、利用料や予約方法がどうなるのか、既存活動の場が確保されるのか明確にしてほしい。 ●子育て世帯への支援として、学習塾代助成や習い事支援のような制度があるとよい。学力支援だけでなく、スポーツや文化活動も含めた支援が望ましい。部活動の地域移行を見据え、クラブ活動や習い事への助成も検討してほしい。 ●上下水道の老朽化について、他市での道路陥没事故などを受けて不安の声があった。老朽管の点検、更新、耐震化など、ライフラインの維持管理を計画的に進めてほしい。
B グループ 池永裕樹 北村栄司 久山佳世子 小芝英俊 鳥山 健 西野滋胤 山本あさみ	●おでかけサポートは利用者から「ありがたい」という声が多く、高齢者の移動支援として評価されている。現在は試行期間であるが、今後の継続・本格実施を期待する。 ●市職員数が以前より削減され、業務量が増えているのではないかと。職員数を減らすことが、本当に市民にとってプラスだったのか検証が必要である。災害時や緊急時には正規職員が中心的な役割を担うため、行政サービスの質や災害対応力を維持するには、必要な正規職員の確保が重要である。 ●教員不足や講師・非正規教員の増加を心配する声がある。教員は子どもに直接影響するため、正規教員をしっかりと確保すべきである。 ●家の前でごみを収集してもらえることは便利で助かる。ごみ置き場の管理や当番負担が少ない点も評価されている。ごみの収集方法なども市の魅力としてPRしてはどうか。 ●新聞などの資源回収を市で行ってほしい。自治会に依存している生活サービスを市が補完する仕組みを検討してほしい。

当日の様子



Bグループ



Aグループ

いただいたご意見、ご要望などについて、必要なものは本市の行政側にお伝えします。また、各議員の議会質問などの参考にさせていただくなど、本市議会の活動をさらに充実するために活用させていただきます。

議会報告会・意見交換会の報告のまとめはこちら ▶▶▶



6月定例月議会で審議された案件と議決結果

議案名		議員名	ええ まち 狭山	大阪維新の会				共創 みらい				公明党			政風 クラブ	日共 産党	本党 議員団	議決結果	
				小 芝 英 俊	中 井 勝 也	中 野 学	西 野 滋 胤	池 永 裕 樹	鳥 山 健	花 田 全 史	松 井 康 祐	北 好 雄	久 山 佳 世 子	山 本 あ さ み	山 本 尚 生	北 村 栄 司	深 江 容 子		
委員会 提出	市長の専決事項の指定についての一部改正		○	○	○	○	○	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
人 案 事 件	人権擁護委員の候補者の推薦（５件）		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
	農業委員会の委員の任命（１７件）／固定資産評価審査委員会の委員の選任／池尻財産区管理会の財産区管理委員の選任（７件）		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
条 例	印鑑条例の一部改正／昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例等の一部改正		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
そ の 他	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議／大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に係る協議／施設整備請負契約の締結		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補 正 算	一般会計補正予算（第４号・第５号）／池尻財産区特別会計（第１号）／半田財産区特別会計（第１号）／東野財産区特別会計（第１号）		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳 情	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情		×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
意 見 書	すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書／ドナーミルクの利用拡大を求める意見書／住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

◆表の見方 会派名及び議員名は、50音順。『○』は賛成または採択、『×』は反対または不採択、『★』は議長につき採決には参加していないことを示しています。

個人情報保護条例の施行状況の公表について

大阪狭山市議会の個人情報の保護に関する条例の施行状況について、同条例第51条の規定により公表します。

令和7年度における開示請求、訂正請求及び利用停止請求はありませんでした。

施行状況については、市議会ホームページにも掲載しています▶▶▶



議会日誌

7月7日

広報委員会
幹事長会議
本会議（最終日）

25日

議会運営委員会
全員協議会

22日

予算決算常任委員会
広報委員会

17日

建設厚生常任委員会
総務文教常任委員会

15日

本会議（代表質問）
本会議（個人質問）

12日

議会運営委員会
全員協議会

6月10日

全員協議会
幹事長会議

29日

本会議（初日）
（6月定例月議会）

28日

傍聴呼びかけ活動

22日

議会運営委員会
全員協議会

14日

5月開会議会

5月7日

議会運営委員会
全員協議会